

◆◆◆◆◆
当山 達彦 議員



雇用の可能性を考えたことがあるか。例えば恩納村では指定管理業者または、補助団体などがあり村から斡旋を行っているか伺います。

答 総務課長 当山欽也

指定管理者や補助団体への障害のある方の雇用斡旋を村はしたことはございません。

質 指定管理者や補助団体などあるわけですから、福祉健康課などで障害のある方を雇用し実際にどのような不便を感じているか、それと何を求めているか考える必要があるのでは、また教育実習や教育を受けてきた多くの方が就職できるような何ができて何が出来ないのかを把握し職の斡旋をすることができると思っています。

答 総務課長 当山欽也

相談窓口及びハローワーク、県障害者職業センター等の活用を勧めることになると思っており村で身体障害者の雇用斡旋業務の対応は厳しいと思っております。

質 専門的な職員を置いて、職員が障害者に関して把握して斡旋

してほしいという事です。

答 福祉健康課長 新里勝弘

相談委員が関係機関へのつなぎができればと考えております。

◆◆◆◆◆
福祉支援サービスについて

質 福祉支援サービスの契約書においては、定義により多く規制されるので、その規制に該当しない事例に関しては、社会福祉協議会のボランティアサービスと聞きまして。現在の現状はどうなっているのか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

地域生活支援事業の中の移動支援は、単独で外出が困難な方の通院や通学の外出を支援する事業であり、この移動支援事業は、車両の乗り降りの際の介助にしか利用料が設定されていないことから、車両の移送する時間の部分が利用料に設定出来ないことになっており、事業所の負担が大きくなるかと認識しております。

質 現状としては、利用されている方が危険な状況にあるというこ

とであり、直接学校まで送るところを実施し、車両移送型のサービスを利用できるのか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

支援学校の件で現在、社会福祉協議会と平成28年度の協議の中で移動支援の事業の有り方も協議し、社会福祉協議会の負担が増加することが無いよう検討し、送迎用の車両の補助を提案させております。又、利用者が安心してサービスが利用できるような環境整備を進めており、移動支援型というものも念頭に含めて、直接学校に送るよう新年度から進めたいと考えております。

質 通所通学の移動支援サービスに職場体験実習などへの移動については該当されないもので、定義の見直しが必要ではないか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

事業所での職場体験実習については、要綱に合致するか課内でも協議しまして、生活上必要な社会生活としてサービスの利用を認めた経緯がございます。今後も認めていきたいと思っております。

◆◆◆◆◆
佐渡山 明 議員



◆◆◆◆◆
村宮墓地団地整備を問う

質 恩納村墓地団地基本計画の目標年次は、平成27年度で終了しますが、名嘉賣・瀬良垣・恩納・南恩納・谷茶・山田・塩屋区で整備に至っていない状況です。各自治会に必要と思われる墓地団地、今年度以降の整備計画を伺

います。

答 村民課長 外間和佳

平成17年度に作成され10年を経過していることから、墓地団地については各自治会の要請に随時基づいて、対応していきたい。

質 墓地整備完了地域と未整備地域での格差が生じており、行政サービスの遅れがある。未整備7自治会については、早急な整備が求められると思います。

答 村民課長 外間和佳

墓地の造成に当たっては、造成地の条件と地域との合意形成が必要となります。その条件をクリアした段階で、地域の特性に合わせてやってみようかと考えております。

質 平成27年3月の定例会で、斎場周辺は墓地を中心とした整備を実施していければと前向きな返答をいただき、来年度には墓地団地の計画が進展することを期待していますが、いかがお考えでしょうか。

答 村民課長 外間和佳

平成25年に埋立は完成して、その後、斎場周辺の全体設計、

◆◆◆◆◆
本村地方創生事業の現状を問う

斎場の駐車場と、南恩納の墓地団地、それと納骨堂を考慮しながら整備を進めます。

質 「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少問題の克服と、成長力の確保を目標として挙げております。目標達成の為に、地域社会問題の解決と就業機会の創出、若い世代の子育て、結婚、出産等の支援がござい

ます。村長は、平成27年度施政方針の冒頭、村総合戦略を策定し、地方創生を進めていくとのことでした。本村の今後を左右する重要課題、地方版総合戦略についての取り組み状況が村民初め我々議会にも伝わっておりません。本村地方版総合戦略の進捗状況をお聞かせください。

答 企画課長 山城雅人

人口ビジョンは、将来展望まで完了している。総合戦略は、課題の抽出、施策につきましては今月中に骨子を取りまとめ、年明けの

推進会議に諮って検討していくことを考えております。

質 住民に身近な施策を幅広く総合戦略に盛り込み、実施することが大切だが、恩納村の地方版総合戦略を策定する上で最も重要な目標を伺います。

答 企画課長 山城雅人

人口減少克服が大きな課題であります。まずは結婚の夢をかなえること、子育ての経済負担の軽減、そのことによって出生率の向上をいかに引上げていくかというところであります。

質 現在、長野県の川上村が本村瀬良垣区で冬季レタス栽培を

実施している事業は川上村の総合戦略事業であります。本村には地域文化資源と大変すばらしい自然環境がございます。地方が自立につながるよう自ら考え、責任をもって推進していくことが求められている総合戦略です。村の将来の為、恩納村の地域に特化した、恩納村に実りのある恩納村版地方創生総合戦略が出来上がることを期待いたします。